

4年間の目標と主な方策（令和6年度～令和9年度）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程学習指導	<p>①生徒の学び直しと日本語支援を充実させ、学ぶことに苦手意識を持つ生徒の生きる力の基礎となる能力の習得を目指す。</p> <p>②生徒の実情やニーズを踏まえた多様な学習機会の整備を図る。</p> <p>③教科横断的な視点に立ち、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の資質・能力を育成する。</p>	<p>①学年会や教科会での情報共有や、研修会などでスキルアップを行い、課題のある生徒に対してより効果的に指導を行う。</p> <p>②ICTを活用し、多様な学習機会を提供し、生徒の主体的な学習を促す。</p> <p>③教科横断的な視点に立って、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育成するための取り組みを模索し、総合的な探究の時間では、「課題探究発表会」を継続する。</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの抱える課題を踏まえたきめ細かな生活指導と相談体制を充実させる。</p> <p>②部活動や行事等を充実させ、生徒が有能感を感じられる取組を進める。</p>	<p>①情報共有や校内研修会等を活用し、早期に適切な生徒支援を行う。</p> <p>①きめ細かな生活指導と充実した個別相談を行い、生徒の困り感への対応とトラブルの未然防止に努める。</p> <p>②部活動週間等を活用し、部活動や行事を充実させる。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの自己実現を目指し、4年間を見通したキャリア教育を推進する。</p> <p>②進路情報の提供について外部と連携し内容を充実させる。</p>	<p>①外部機関と連携して進路情報を提供し、個人面談、LHR等を利用し、個々の生徒のニーズに配慮した支援を行う。</p> <p>①4年間を見通したキャリアプランの作成を推進する。</p> <p>②ICTを活用し効果的な進路支援を行う。</p>
4	地域等との協働	<p>①保護者や地域と協働・連携した教育活動を展開し、信頼される学校づくりを行う。</p> <p>②教科やキャリア教育の観点で協同を図り、地域に根差した学校を目指す。</p>	<p>①地域貢献活動や文化祭を通して地域や保護者と連携する。</p> <p>①ホームページを定期的に更新し広報活動を効果的に行う。</p> <p>②総合的な探究の時間や進路学習において、地域との協働の方法を検討し、実施する。</p>
5	学校管理学校運営	<p>①生徒にとって安全・安心な学校づくりを推進し、教職員一人ひとりが事故・不祥事防止に積極的に取り組む。</p> <p>②業務改善のために業務のスリム化やデータ管理などを推進する。</p>	<p>①外部機関と連携して、実践的な交通安全、防犯、防災教育を実施する。</p> <p>①防災備蓄品の点検をし、実践的な防災訓練を実施する。</p> <p>②定期テストの共通化や複数による点検確認の徹底等を継続する。</p>